



主事業：区画線事業

- 本社所在地：千葉県船橋市
- 事業概要：道路や駐車場などの区画線事業、交通安全施設業、舗装事業、土木事業、コインランドリー事業、幼保園事業、ダンススクール事業
- 常時使用する従業員：166名
(2026年5月時点)
- 現在の売上高：30億円
(2025年12月期)
- 法人番号：2040001020082
- Web：https://jc-g.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
大原 俊弘

地球環境を心地よくする「底力」でありたい

当社は、「交通事故をなくしたい」との思いから、総合建設業として安全な都市環境作りに貢献してきました。創業以来培った当社の技術と現場のニーズを反映させた製品を開発し、施工と製品のシナジーを生み出して心地よい地球環境の実現と100億円達成に取り組みます。また、近未来的には技術の進歩により車が空を飛ぶようになり、現在の道路が緑地や新たな公共空間へと生まれ変わるような、大きな社会環境の変化も想定されます。こうした時代の変化にも対応するため、人材育成や新製品の開発に積極的に投資してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

人材育成や工事部門と連携した商品開発に取り組み、2036年の売上高達成を目指します。



課題

現場技術者の確保

建設業の就業者数は1997年(685万人)をピークに減少が続いており、2024年時点で477万人。当社においても、3Kイメージを払拭、新3Kイメージを展開して新規入職者を増やす必要あり。

教育体制 口伝での技術継承が多く、育成期間が長期化傾向。
開発施設の老朽化 人材の工程が残っており、生産性が低い。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

次世代リーダーの早期育成

技術者の教育制度を刷新、若手リーダーの登用を加速。

開発拠点の刷新と生産性向上

老朽化した開発施設を最新鋭拠点に刷新する。DX導入により生産プロセスの劇的な効率化を図る。

製販一体による市場拡大

工事現場のニーズを直結させた製品を開発。施工と製品のシナジーを最大化し、新規顧客および取引シェア拡大を目指す。

戦略的M&Aの実行

実施体制

- ・工事・製造・営業・管理の各部門横断型のプロジェクトチームを構成し、全社最適の観点で意思決定を行い、必要なリソースを迅速に投入できる体制を構築する。
- ・次世代リーダーをプロジェクトチームの中核に登用し、活力ある取り組みを進める。
- ・設備投資およびM&Aについては、外部専門家と協議しながら慎重かつ大胆に推進する。